

私たちはどのように21世紀のまちをつかっていくべきか

～人口減少時代の到来。町がなくなる。安倍政権の「地方創生」の行方は～

国際的にみても、人口減少化、少子高齢化が着実に進む今の日本の状況ほど、真摯な地域政策、都市政策が求められているところはありません。我々が生きていく上で、「国土・地域・都市」のあり方を考えることは、経済や制度、コミュニティ等、全ての基礎を考えることにもなるからです。

戦後の日本社会がどのような思想と制度に基づいて国土・地域・都市を考え、つくってきたか、またこれからどのようなビジョンのもと、思考し、生み出していくべきか、有識者を変え、実際にその土地で生きる人々の立場から、考え、4回にわたって議論していきたいと思えます。

第一回は、人口減少化社会において、望ましい地域・都市のイメージはどのようなものか、2020年の東京オリンピックに向かう中、都市への集中を加速化させることで果たして良いか。足元たる現状の地域・都市政策は適切か、都市計画・都市政策・政治をいかに適切に展開していくかについてがテーマです。

●登壇者●

五十嵐敬喜

法政大学名誉教授・弁護士

大野秀敏

東京大学前教授・建築家

野口和雄

都市プランナー

【資料代】各回1,000円(当日お支払いください。各回それぞれの参加も可)【お申込】<http://soyu-igarashi.sakura.ne.jp/photo.html>

【問い合わせ】renzokukoza@soyu-igarashi.sakura.ne.jp ※やむをえず内容が変更になる場合があります。

■大野秀敏 略歴

1949 岐阜県生 1972 東京大学工学部建築学科卒業
1976-1983 株式会社横総合計画事務所
1999 東京大学大学院教授(新領域創成科学研究科環境学専攻、工学部建築学科兼任)
2015 同退職

主な建築作品と受賞(*印以外はアブル総合計画事務所との共同)

1993 N B K 関工園事務所・ホール棟(1993年度社団法人新日本建築家協会新人賞、第6回日経ニューオフィス推進賞の通産大臣賞)、1993 茨城県宮松代アパート(1995年日本建築学会作品選奨)、1994 Y K K 滑川寮(1996年日本建築学会作品選奨)
2005 フロイデ彦島(2007年建築業協会賞(BCS賞)、医療福祉建築賞)、2008 YKK 健康管理センター(2010年建築学会作品選奨、グッドデザイン賞)、2009 YKK 黒部事業所 YKK 丸屋根展示館(第20回 ベルカ賞 グッドデザイン賞)、2009 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構棟(2011年度日本建築学会賞(作品)、2011

年BCS賞)

著作

『見えてくれない都市』: 横文彦他との共著(1980) 鹿島出版会、『fibercity Tokyo 2050』雑誌 JA (The Japan Architect) 63号 2006年秋号特集 新建築社、『シユリソニキング・ニッポン～縮小する都市の未来戦略』共著(2008) 鹿島出版会など多数

■五十嵐敬喜 略歴

1944 山形県生 1966 早稲田大学法学部卒業、1968 弁護士登録、1995 法政大学法学部教授、2014 同退職、同名誉教授

著作

『美の条例～いづき町をつくる』共著(1996) 『美しい都市をつくる権利』(2002)、『美しい都市と祈り』(2006) 以上学芸出版社、『都市再生を問う』(2003)、『道路をどうするか』(2008) 以上共著、岩波新書、『国土強靱化批判』(2013) 岩波ブックレット、『現代総有論序説』(2014) ブックエンドなど多数

まちづくり連続講座 4回シリーズ

- ▶ 第2回 2015年5月23日(土) 13:00～16:00 55号館531教室
～戦後都市と国土はどのように創られてきたか。田中角栄の功と罪～
- ▶ 第3回 2015年6月27日(土) 13:00～16:00 55号館531教室
～魅力的な都市とその制度的保障。都市法改革の提案

- ▶ 第4回 2015年7月25日(土) 15:00～18:00 外濠校舎S3071教室
～21世紀都市ビジョンの形成。「現代総有の提案」と田園都市 パネルディスカッション

主催：法政大学都市法・現代総有研究会

協賛：一般社団法人チームまちづくり・日本景観学会・公共事業改革市民会議・都市計画道路連絡会・景観と住環境を考えるネットワーク